

水槽の破損と再生をめぐる 琵琶湖博物館の活動

滋賀県立琵琶湖博物館 館長 亀田佳代子



1

1

自己紹介

1996年12月1日

琵琶湖博物館に学芸員として採用

※琵琶湖博物館開館は同年10月20日

- ・鳥類学、動物生態学を専門分野として
カワウなどウ類を中心とした
生態系での水鳥類の物質輸送機能と
鳥(野生生物)と人との歴史的関わり
- ・総合研究(明治以降の琵琶湖とその集水域
の環境変遷)
- ・博物館の中長期基本計画、常設展示
リニューアル、デジタルミュージアム
(びわはくGIS)などに関わる



2

2

今日の話題

- 琵琶湖博物館の概要と水槽破損前の状況
- ビワコオオナマズ水槽の破損事故と対応
- 水族展示部分閉室中の来館者対応
- 破損事故への応援の声と支援(クラウドファンディングその他)
- 琵琶湖博物館の寄附制度と企業連携
- YouTube、SNS、クラウドファンディングを介した広報
- みんなでつくったビワコオオナマズ水槽オープン
- そして今年 開館30周年

謝辞: 本講演の準備にあたり、館内外の職員・関係者に情報・資料・画像の提供をいただきました

3

3

琵琶湖：古代湖であり人と深いかわりを持つ湖



古代湖とは？

- ・おおむね10万年以上の歴史を持つ
- ・多くの固有種(そこにしかない生物)が生息
- ・世界に約20

古代湖としての琵琶湖

- ・約400万年の歴史を持つ
- ・多くの固有種(62種+可能性のある84種)が生息

古代湖の中でも琵琶湖固有の特徴

- ・古くから多くの人々が琵琶湖とともに暮らしてきた
- ・京都という都に隣接

=>「生命·文化複合体」

琵琶湖博物館水族展示 世界の古代湖解説板

データ出典: Kawanabe, H., Nishino, M. & Maehata, M(eds.) (2020)
<https://www.biawahaku.jp/study/lake-biwa-overview.html>

4

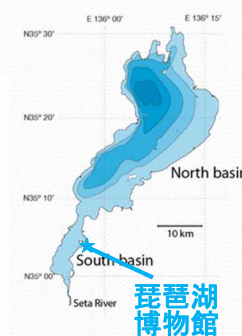
4

滋賀県立琵琶湖博物館

「琵琶湖に対する総合的な理解を深めることにより、湖と人間のよりよい共存関係を築いていくため」に設置

(滋賀県立琵琶湖博物館の設置および管理に関する条例(平成8年滋賀県条例第26号))

「びわ博(びわはく)では、琵琶湖の価値を伝え、みんなで湖と人の共存関係を考えるための材料と機会を提供しています。そのために、調査研究、資料の収集・整理・保存活動を行い、その成果を展示・講座・観察会などを通して広く紹介しています。」(<https://www.biwahaku.jp/about/activity.html>)



5

5

琵琶湖博物館 テーマは「湖と人間」

琵琶湖博物館の使命 存在意義/果たすべき役割

琵琶湖博物館は、人々が湖とともに生きることについて考えるための情報や機会を提供しています。琵琶湖博物館はみなさんとともに、琵琶湖とその周囲の自然や湖とともにある暮らしの多様性や成り立ちについて探求し、発見したことを広く共有し、ともに学びあう場を創ります。また、貴重な資料を将来にわたって保管・継承し、多くの人々に使えるようにすることで、みなさんの活動を世代を越えて応援・継承します。

基本理念 活動の指針/どんな博物館を目指すか

- テーマをもった博物館
「湖と人間」というテーマにそって未知の世界を研究し、成長・発展する博物館
- フィールドへの誘いとなる博物館
魅力ある地域への入口として、フィールドへの誘いの場となる博物館
- 交流の場としての博物館
多くの人びとによる幅広い利活用と交流を大切にする博物館

1996年10月20日 開館
2020年10月10日
常設展示リニューアル
グランドオープン
2026年 開館30周年



開館30周年記念ロゴマーク

琵琶湖博物館第三次中長期基本計画(2021-2030) https://www.biwahaku.jp/_32021pdf_pf.html

6

6

琵琶湖博物館の活動イメージ: 樹木図



現地調査と資料収集はフィールドから「知」という栄養を吸い上げる**根**
研究は博物館活動の**根幹** 吸い上げた栄養から**葉**を広げ**実**を結ぶ

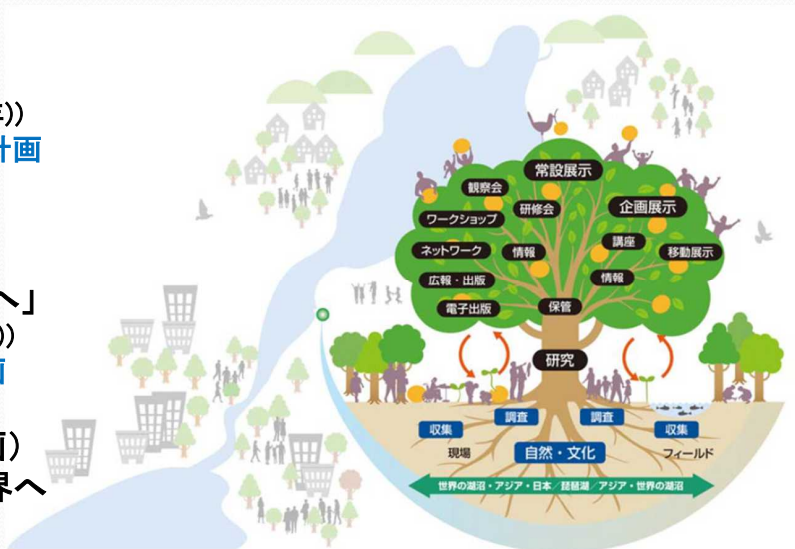
7

7

2026/07/08

琵琶湖博物館の中長期基本計画

- (1) 琵琶湖博物館中長期基本計画
「地域だれでも・どこでも博物館」
(平成14年(2002年)から平成27年(2015年))
→(当時の)若手学芸員による中長期計画
ワーキンググループの案を元に策定
- (2) 新琵琶湖博物館創造基本計画
「博物館の『木』から地域の『森』へ」
(平成26年(2014年)から令和2年(2020年))
→常設展示リニューアルにむけた計画
- (3) 第三次中長期基本計画(現計画)
「出あい、学びあい、琵琶湖を世界へ
発信する博物館へ」
(令和3年(2021年)から令和12年(2030年)) →中間見直しで持続可能な博物館づくりの推進を追加



8

8

水槽破損前の琵琶湖博物館と社会の状況

★常設展示リニューアル(2012年度～2020年度)

2012年度～2020年12月:創造準備室設置(学芸員兼務)

2015年度～:広報営業課設置

(2023年度より企画・広報営業課)

→広報活動の促進・寄附制度の整備



https://www.biwahaku.jp/2019/05/post_16.html

★コロナ禍(2019年度後半～2022年度)

休館時の博物館活動の模索

→インターネットを介した活用促進
SNSによる発信



<https://www.biwahaku.jp/study/ouchi-museum.html>

ようやくコロナ禍が落ち着いてきたころ・・・

琵琶湖の主(びわこのぬし)水槽 (通称:ビワコオオナマズ水槽)の破損事故

・水槽の性状

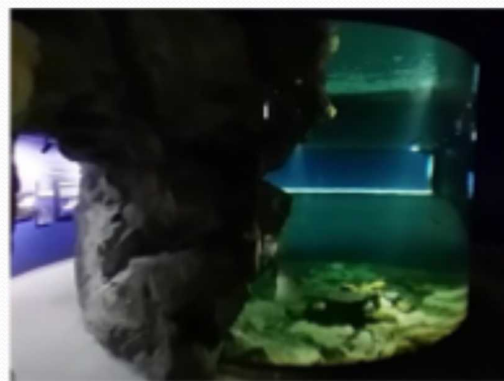
形状:円柱状水槽 直径 5.1m、高さ 3.8m

材質:アクリル(底はコンクリート製) 厚さ 40mm

展示水量:約 78 トン

設置年:開館時(1995～1996年)

※リニューアル時(2016年)改修なし



滋賀県立琵琶湖博物館水槽破損事故原因調査報告書より抜粋 https://www.biwahaku.jp/2023/09/post_154.html

琵琶湖の主(びわこのぬし)水槽 (通称:ビワコオオナマズ水槽)の破損事故

- ・事故発生状況 2023年2月10日(金)8:00頃
- 6:00頃 警備員巡回、異常なし
- 7:59 防災監視センター漏電警報 受信
- 8:19 水槽ろ過槽の水位低下警報 受信
- 8:20 水族飼育員ろ過槽の水位低下 確認
水槽破損と周囲への浸水 確認
- 8:20頃 清掃職員が浸水確認
総務部総務課に報告
- 8:30～ 博物館職員で排水作業、
被害状況の確認開始

滋賀県立琵琶湖博物館水槽破損事故原因調査報告書より抜粋
https://www.biwahaku.jp/2023/09/post_154.html



破損直後のビワコオオナマズ水槽

琵琶湖の主(びわこのぬし)水槽 (通称:ビワコオオナマズ水槽)の破損事故

- ・事故後の対応
- 水族展示室閉室(約半分のエリアが浸水)
- 翌日より観覧料引き下げ
(リニューアル時の一部展示室閉室と同じ考え方)
- 関係各所に連絡
- 排水・危険物撤去作業と被害状況確認
- 当日14:10頃 ビワコオオナマズ1個体 救出
- 15:00頃 排水完了 記者会見実施
- 全水槽目視点検 建物調査(県建築課)
- アクリル納入・水槽設置業者等による調査

滋賀県立琵琶湖博物館水槽破損事故原因調査報告書より抜粋
https://www.biwahaku.jp/2023/09/post_154.html

2月10日ビワコオオナマズ水槽
破損による水族展示浸水箇所



琵琶湖の主(びわこのぬし)水槽 (通称:ビワコオオナマズ水槽)の破損事故

・第三者委員会設置

事故原因等の調査と今後の点検等安全管理のあり方を検討
水族展示および水槽に関する専門家6名

2023年3月11日、3月29日、6月7日、8月10日 計4回開催
現場検証、事故発生状況とその原因、安全点検などを検討

2023年9月1日

「滋賀県立琵琶湖博物館水槽破損事故 原因調査報告書」
を委員長より館長へ提出

ウェブサイトで公開:https://www.biwahaku.jp/2023/09/post_154.html



琵琶湖の主(びわこのぬし)水槽 (通称:ビワコオオナマズ水槽)破損の原因

- ・アクリルの拘束による変形
(背面の擬岩のモルタル・鉄骨、ステンレス巾木下部など)
- ・破断の起点となるケミカルクラックの関与
(シーリング材やプライマーに含まれる溶剤の影響)



アクリル水槽の特性に関する関係者間の
共通理解と意思疎通の不足が根本的要因

滋賀県立琵琶湖博物館水槽破損事故原因調査報告書より作成
https://www.biwahaku.jp/2023/09/post_154.html

破損事故を受けて： 全水槽の安全点検と管理体制構築

※別水槽の破損

3月2日 **ふれあい水槽の亀裂**発見

→危険防止のため**落水**

・安全点検

第三者委員会の意見を受け、**安全度リスト**作成

判定に基づき安全度の低い水槽を**落水**

→オオナマズ水槽と同形状のコアユ水槽**落水**(3/10)

トンネル水槽の**落水**(3/19)

「よみがえれ！日本の淡水魚」他9つの水槽**落水**

→安全確認の後、5月9日より部分再開

琵琶湖博物館水槽破損事故原因調査報告書より抜粋
https://www.biawahaku.jp/2023/09/post_154.html

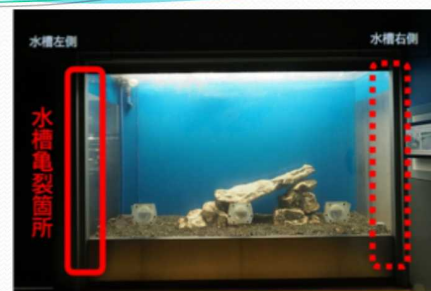


図11 ふれあい水槽の破損箇所



水族展示部分閉室中の来館者対応

来館者サービスの維持・一緒に復旧を盛り上げ

- * 閉鎖した水槽で展示していた魚を、別水槽や剥製・液浸標本で展示

→これまでと同じ種数の魚類を展示

- * 水族トピック展(水族企画展示室)

「水族飼育員推し魚から見る琵琶湖と周辺の生き物たち」

- * 水族イラスト展「みんなでつくろう水族展示！水族イラスト展」

閉鎖しているオオナマズ水槽前の壁面を使って、募集したイラストを展示
(第1期～第3期)

- * むりえ展(水族企画展示室)

「思い思いのカラーで彩ろう！塗り絵・イラスト展示室」

- * 応援メッセージコーナー(閉鎖しているコアユ水槽前)



水族展示部分閉室中の来館者対応

* 水族トピック展(水族企画展示室)

「水族飼育員推し魚から見る琵琶湖と周辺の生き物たち」

2023年5月9日～9月3日



17

17

2026/07/08

水族展示部分閉室中の来館者対応

* 水族イラスト展「みんなでつくろう水族展示！水族イラスト展」

プレ展示「黒川瑠伊君のはじめてのびわこの魚展」2023年6月24日～7月30日



出版: 能美舎

<https://noubisha.thebase.in/items/63069116>

びわ博育ちの「お魚博士」高校生(中学時に絵本出版)が応援

18

18

水族展示部分閉室中の来館者対応

* 水族イラスト展「みんなでつくろう水族展示！水族イラスト展」

・第1期「琵琶湖の魚」

応募期間：2023年7月1日～7月26日

開催期間：2023年8月1日～10月29日

イラスト応募数：47名48点

・第2期「みんなが見たいびわ博水槽」

応募期間：2023年9月20日～10月20日

開催期間：2023年10月31日～1月21日

イラスト応募数：30名31点

・第3期「守りたい水辺の生き物」

応募期間：2023年12月20日～2024年1月19日

開催期間：2024年1月27日～4月7日

イラスト応募数：56名57点

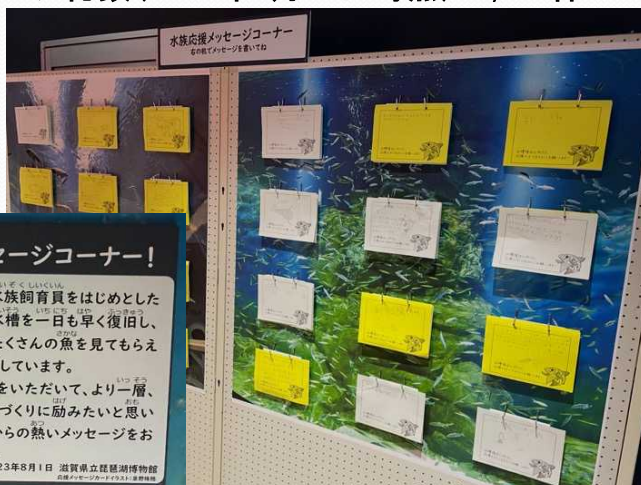


水族展示部分閉室中の来館者対応

* 水族応援メッセージコーナー

開催期間：2023年8月1日～2024年9月30日

メッセージ総数(2024年3月31日時点)：4,913件



ご来館の皆さまからのお声

小学生以降 10年ぶりに来ました。すごく楽しかったし、時間が足りないくらいです。修理作業大変だと思いますが、がんばってください！



<https://readyfor.jp/projects/biwahaku2024>

破損事故への応援の声と支援

破損事故に対する利用者からの批判

・・・ほぼなかった

逆に、**応援の声**を多数いただいた
子どもさんからのメッセージやお手紙、
地元の個人・企業の方々・・・

2023年2月11日(土)(事故翌日)

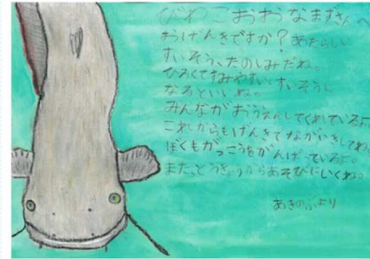
「滋賀ふるさと観光大使」西川貴教氏 一日館長

元々予定していたイベント

ご本人の意向もあり協議の結果実施

→お見舞いや応援メッセージをいただいた

2023年2月10日ビワコオナマズ水槽の破損という大きな事故があった約1ヵ月後、博物館に「ビワコオナマズ様」宛てのお手紙が届きました。開けてみると、あきのふ君からナマズを心配するお手紙と日本のナマズ4種が載った手作りの図鑑でした。水槽破損の対応に大変な日々を送っていましたが、そのお手紙に博物館一同感激しました。その後も定期的にお手紙を送ってくれて、とても励みになっています。そんな影伸君が今回もメッセージを送ってくれました。いつも本当にありがとうございます！



ぼくはとうきょうにすんでいます。5さいのときにはじめてびわこはくぶつかんで、びわこおなまずさんにあいました。かおがかわいくて、だいすきになりました。そのあとすぐに、すいそうがわるいじこがありました。ぼくは、びわこおなまずさんがしんばいになって、おてがみをかきました。びわこはくぶつかんのすきなところは、はくぶつかんといそくかんがいっしょにたのしめるところです。とくにすきなばしょはディスカバリーームです。あそびながらはかせのようにくわしくなれます。びわこおなまずさんにあえたり、びわこにしかない、めずらしいいきものをまぢかでみられたりするので、にほんじゅうのみんなにあそびにきてもらいたいです。びわこおなまずさんたちの、こわれてしまったすいそうを、みんなのちからであたらしくつくりなおそうと思っています。ぼくも、おうえんしています。

<https://readyfor.jp/projects/biwahaku2024>

破損事故への応援の声と支援:クラウドファンディング

多くの応援・支援の声あり

応援してくださる多くの方々とともに水族展示の再生を行う

←**クラウドファンディング**の実施を決定

* 背景:

水槽破損事故以前からクラウドファンディング業者からコンタクトあり
オンラインセミナーなどに参加

* しかし決定までには館内で議論あり

職員への**負担が膨大**(広報、支援者対応、返礼、事務手続き・・・)

公立館の施設整備や修理は**設置者が負担**すべき

→他館や社会への影響も懸念

破損事故への応援の声と支援:クラウドファンディング

多くの応援・支援の声あり

応援してくださる**多くの方々の参加により水族展示を再生する**

←クラ

* 背景:
水槽破
オンラ

* しかし
職員へ
公立館
→他館



トあり

...)

23

23

2026/07/08

破損事故への応援の声と支援:クラウドファンディング

具体的な実施に向けての準備と方針

- ・自治体直営の博物館での実績など情報収集
- ・All or Nothing型？ All In型？
→みなさんに参加していただくことが大事なので**All In型**に
- ・寄附型？ ふるさと納税型？
ふるさと納税型は、税制優遇措置の事務手続きが負担
→滋賀県のふるさと納税に該当→県民への対価性のある返礼は×
→県内外の支援者に同様に返礼したい
→**体験型メニュー**を中心に**対価性のない返礼**を準備
- ・館内の体制づくり: 水族担当職員だけでなく**館全体で対応**
→立場や部署を超えた若手メンバー3人を中心に全体でバックアップ
- ・水族展示だけでなく**琵琶湖博物館全体の活動**を知ってもらう

24

24

破損事故への応援の声と支援:クラウドファンディング

【第1弾】

「水族展示復活へ！トンネル水槽再生にご支援を | 琵琶湖博物館【第1弾】」

第一目標:トンネル水槽再生 第二目標:「よみがえれ！日本の淡水魚」

期間:2023年11月15日10:00～2024年1月31日23:00

支援者数:累計796人 支援金額:合計 11,593,000円(第一目標 5,000,000円)

返礼の内容:

特別デスクトップ壁紙、特別感謝状(お魚ポスター特別版・よみがえれ！日本の淡水魚)、トンネル水槽特別内覧会、保護増殖センターツアー・水族一通りツアー、学芸員の研究体験(プランクトン)、博物館オンラインツアー展示解説編・コレクション編、学芸員による展示室のDEEP解説B展示室・C展示室、水族展示室・屋外展示、館長ツアー・副館長ツアー

活動報告:78件(2023年11月17日～2025年3月31日)

<https://readyfor.jp/projects/biwahaku2023>

25

25

2026/07/08

破損事故への応援の声と支援:クラウドファンディング

【第2弾】

タイトル:「新ビワコオオナマズ水槽誕生にご支援を！ | 琵琶湖博物館【第2弾】」

期間:2024年8月28日9:00～2024年11月25日23:00

支援者数:累計866人 支援金額:17,739,702 円

応援メッセージ:これまで博物館や職員とつながりのある(海外も含む)多様な分野の個人・団体・連携企業に依頼

返礼の内容:全職員(総務、会計年度任用職員など含む)からアイデアを募集

特別感謝状(お魚ポスター特別版クリアファイル、お魚ポスター特別版、日本のナマズ全 4種ポスター、ビワコオオナマズ実寸大ポスター、コアユの群れポスター、水鳥とカヤネズミの足跡、日本画家村由子さん作)、特別デスクトップ壁紙、琵琶湖博物館版「御博印」、ビワコオオナマズ水槽のかけら、展示室の大掃除体験(ゾウの展示、鳥類の展示、哺乳類の展示)、琵琶湖博物館オンラインツアー(展示解説編、コレクション編)、学芸員による展示室のDEEP 解説(A展示室、水族展示室、屋外展示室)、新水槽完成お披露目内覧会、おとな・ナイトミュージアム、ナイトミュージアム、水族飼育員の活動体験、水族バックヤードツアー(保護増殖センター、水族バックヤード一通り、水族バックヤード+魚(チョウザメ)の餌やり+各収蔵庫ツアー、副館長を行く県庁ツアー、学芸員の研究体験(プランクトン)、1組限定のスペシャルな観察会・講座・体験会・ツアー(琵琶湖のふるさとで化石を探す、学芸員と一緒に作るアロマウォーター、動物の骨格標本作り、博物館獣医師体験、バイカルアザラシ水槽の落水清掃の見学、イチモンジタナゴの保全地を巡るツアー)、あなたの作品を博物館に展示します、渡り廊下のパナー(懸賞幕)

活動報告:97件(2024年8月28日～2026年4月23日)

<https://readyfor.jp/projects/biwahaku2024>

26

26

破損事故への応援の声と支援:クラウドファンディング



クラウドファンディングのお礼とリターンとしてのお名前掲示

リターンとしての水族展示室への渡り廊下のバナー

破損事故への応援の声と支援:クラウドファンディング

* 得られたもの

- ・支援者からのあたたかい応援メッセージ
職員の励みに
- ・支援者一人一人の顔や博物館との関わり
博物館への想いや期待、久しぶりに思い出す、新たに知った、...
- ・びわ博を知らない方々への認知度向上
存在だけでなく、博物館の活動を知ってもらう
- ・立場の異なる職員同士が館全体で相互協力

* 苦労・課題

労力と時間がかかる(専属体制がないと多大な業務追加)
本庁との連絡調整、事務手続き、活動報告やメッセージへの返信、リターン対応...
体験型リターンの対応は新水槽オープン後まで続く

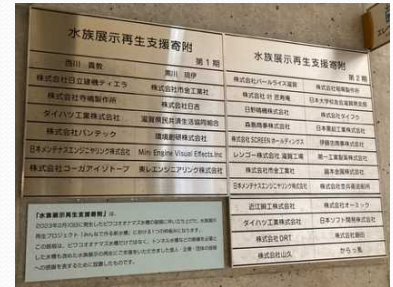
破損事故への応援の声と支援:その他の対応

- ・ウェブサイトを使わないクラウドファンディング(CF)支援
チラシ印刷・振込先掲載→口座振込が可能
- ・館内に募金箱設置
子どもでも少額でも支援が可能
(※独自に募金箱を設置いただいた企業も)



誰もが支援に参加できるようにする

- ・水族展示再生支援寄附(企業・団体・個人からの支援)
2023年度 14件 12,050,000円
2024年度 24件 12,310,000円



水族展示再生支援寄附の銘板

支援制度は博物館活動に参加する仕組み

琵琶湖博物館の寄附制度と企業連携

寄附制度: 常設展示リニューアル時に発足

体制: 総務部に広報営業課設置 専属の会計年度任用職員を採用

リニューアル終了後も継続

<期間限定的な枠組み>

制度名	寄附目的	(名称)	対象	期間	金額	特典	税制優遇措置
リサポーター	展示交流空間リニューアルに対する支援	—	企業・団体 および個人	2018年度～ 2020年度	1口50,000円	・サポーター名掲載(館内・HP) ・CSR活動パネル館内1ヶ月掲示 ・感謝状贈呈(贈呈式・プレス発表) ・社内研修や催し物等に協力 ・10口以上500,000円は「企業・団体の日」: 1日館内で紹介	・あり(ふるさと納税)
「みんなであつくる新水槽」	特定展示への支援	クラウドファンディング「水族展示再生」第1弾・第2弾	主に個人	第1弾: 2023年11月15日～ 2024年1月31日 第2弾: 2024年8月28日～11月25日	1口3,000円～1,000,000円 1口5,000円～3,000,000円	・氏名掲載(希望者のみ)(HP) ・特別礼状送付 ・特別体験	・あり(ふるさと納税)
		水族展示再生支援寄附	企業・団体 および個人	2023年度～ 2024年度	1口500,000円	・サポーター名掲載(HP) ・特別感謝状贈呈 ・内覧会招待	・【県内】あり(ふるさと納税) ・【県外】地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)

山川・亀田(2025)全科協News 55(1)

琵琶湖博物館の寄附制度と企業連携

<継続的な枠組み>

制度名	寄附目的	(名称)	対象	期間	金額	特典	税制優遇措置
びわ博サポーター制度	博物館活動・運営全般に対する支援	メンバーシップ	企業・団体	1月～12月	1口50,000円/年(年更新)	・サポーター名掲載(館内・HP) ・従業員・家族入館料:2割引 ・びわ博サポーター交流会案内 ・招待券配付 ・企画展示図録配布	・なし
		琵琶湖博物館応援寄附	企業・団体	1月～12月	1口50,000円/年	・サポーター名掲載(館内・HP) ・感謝状贈呈	・【県内】あり(ふるさと納税) ・【県外】地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)
			個人	1月～12月	(1口30,000円)	・サポーター名掲載(館内・HP) ・感謝状贈呈	・あり(ふるさと納税)
		キャンパスメンバーズ	大学・専修学校等	1月～12月	5,500円～600,000円/年(学生数により異なる)(年更新)	・在学生入館料減免	・なし
	特定展示の運営への支援	水槽サポーター	企業・団体および個人	1月～12月	30,000円～100,000円/年(水槽により異なる)(年更新)	・サポーター名掲載(館内・HP) ・従業員割引:2割引 ・びわ博サポーター交流会案内	・なし
		樹冠トレイルサポーター	企業・団体および個人	1月～12月	100,000円/年(年更新)	・サポーター名掲載(館内・HP) ・従業員割引:2割引 ・びわ博サポーター交流会案内	・なし
滋賀応援寄附	博物館活動・運営全般に対する支援	(琵琶湖博物館)	企業・団体および個人	4月～翌年3月	金額指定なし	【県内在住者】返礼品なし 【県外在住者】返礼品選択可	・あり(ふるさと納税)

山川・亀田(2025)全科協News 55(1)

琵琶湖博物館の寄附制度と企業連携

令和8年(2026年)版

びわ博30年「あい」があふれるミュージアムへ
—琵琶湖と人— これまでも、これからも—

滋賀県立琵琶湖博物館
への御寄附について



滋賀県立
琵琶湖博物館

琵琶湖博物館では、いただいた御寄附を通じて

- 「湖と人間」のより良い共存関係の構築
- 持続可能な社会の実現を担う環境人材の育成
- 環境保全活動の活発化 等

につなげています。

御寄附いただいた企業・団体様のメリットとしては

- 社会貢献 (SDGsの達成など高いPR効果)
- 地方公共団体との新たなパートナーシップの構築
- 地域資源などを活かした新事業展開
- 生物多様性保全に向けた事業展開 等

が挙げられます。



企業訪問
主に専属会計年度任用職員
館長・副館長の新任挨拶

感謝状贈呈式
館長より感謝状贈呈
展示室案内

2025年度 寄附・サポーター
合計 135件 17,255,550円

企業向けの支援・連携メニューの資料

琵琶湖博物館の寄附制度と企業連携

博物館サポーター制度

①メンバーシップ制度

博物館の活動に必要な資料の収集、管理(防虫・防黴)、飼育、管理等に活用させていただきます。また、企業・団体の皆様に会員になっていただくことで、従業員やご家族に様々な特典を受けていただくことができます。琵琶湖や滋賀の自然、歴史・文化をより深く知っていただく場として、さらに交流の場として、ご利用ください。

御寄付金額：一口50,000円

期間：1月1日～12月31日まで(1年間)

(年途中の場合は月割りとなります。)

特典：博物館内およびウェブサイトにて企業名等の掲出
法人従業員・御家族の入館料2割引
常設展示・企画展示招待券配布
(5枚/一口)
企画展示図録の配布 等



博物館サポーター制度

④キャンパスメンバーズ制度

博物館の活動に必要な資料の収集、管理(防虫・防黴)、飼育、管理等に活用させていただきます。また、大学等教育機関の皆様に会員になっていただくことで、学生の皆様に様々な特典を受けていただくことができます。琵琶湖や滋賀の自然、歴史・文化をより深く知っていただく場として、さらに交流の場として、ご利用ください。

御寄付金額：55,000円～600,000円

(学生数により金額が異なります。)

期間：1月1日～12月31日まで(1年間)

(年途中の場合は月割りとなります。)

特典：博物館内およびウェブサイトにて大学名等の掲出
常設展示の入館料免除
企画展示の入館料2割引 等



企業向けの支援・連携メニューの資料

琵琶湖博物館の寄附制度と企業連携

博物館サポーター制度

②水槽サポーター制度

当館の水族展示室に設置しています水槽の運営に対する支援をいただいています。企業・団体の皆様には、様々な水槽や希少種の保護増殖センター、琵琶湖などに生息する小さな生き物を紹介するマイクロアクアリウムから支援対象を選んでいただいています。

御寄付金額：30,000円～500,000円

(水槽等により金額が異なります。)

期間：1月1日～12月31日まで(1年間)

(年途中の場合は月割りとなります。)

特典：博物館内およびウェブサイトにて企業名等の掲出
法人従業員・御家族の入館料2割引
びわ博サポーター交流会案内 等



博物館サポーター制度

③樹冠トレイルサポーター制度

当館の屋外展示に設置しています琵琶湖と森を体験していただく空中遊歩道『樹冠トレイル』の運営に対する支援をいただいています。

御寄付金額：一口100,000円

期間：1月1日～12月31日まで(1年間)

(年途中の場合は月割りとなります。)

特典：博物館内およびウェブサイトにて企業名等の掲出
法人従業員・御家族の入館料2割引
びわ博サポーター交流会案内 等



企業向けの支援・連携メニューの資料

琵琶湖博物館の寄附制度と企業連携

琵琶湖博物館応援寄附

⑤地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

⑥ふるさと納税

企業・団体と連携した当館での研究事業や博物館の各種展示に必要な資料の収集、管理（防虫・防黴）、飼育、管理等に活用させていただいています。

御寄付金額：一口500,000円（企業・団体のみ）
特典：博物館内およびウェブサイトにて企業名等の掲出
感謝状の贈呈 等

【税制上の優遇措置】※本事業は企業版ふるさと納税対象事業です。

- 県内に本社がある法人・団体：寄附額の金額を損金算入できます。
- 県外に本社がある法人・団体：企業版ふるさと納税の対象となり、最大で寄附額の9割が税控除されます。
- 個人（県内・県外）：所得税、個人住民税ともに2,000円を超える部分について一定の限度額まで、所得税と個人住民税を合わせて控除が受けられます。

企業向けの支援・連携メニューの資料

35

35

2026/07/08

琵琶湖博物館の寄附制度と企業連携

博物館事業への支援・連携事例

- ・新規事業（子ども若者学習支援事業）への御支援
- ・博物館事業（企画展示・水族企画展示）への情報発信協力
- ・博物館活動（水族企画展示、研究活動）への物品寄贈

博物館が実施する各種事業に対して企業・団体様からご提案をいただき、支援いただいております。

- ふれあい体験ワークショップ事業、絵本製作プロジェクトへの支援
水族展示室内での生き物ふれあい体験ワークショップ事業や未就学児向け絵本製作にかかる経費に対する助成
- 企画展示、水族企画展示の情報発信への協力（ラッピングパッカー車）
- 水族企画展示の実施や研究活動にかかる物品寄贈



★個別の支援

- ・滋賀県との
包括協定に基づく連携研究
アユモドキ保全
- ・子ども若者学習支援事業
**ふれあい体験ワークショップ
絵本製作**
- ・企画展示・水族企画展示への
情報発信協力
ラッピングパッカー車
- ・水族企画展示・研究活動への
物品寄贈



企業向けの支援・連携メニューの資料より作成

36

36

琵琶湖博物館の寄附制度と企業連携

①生物多様性保全活動への支援

企業・団体様の敷地等において、希少生物などの保全・再生活動への支援を行っています。



②産学官連携による共同制作

企業・団体様、大学との連携により、環境教育ツールの開発・制作に取り組んでいます。

③環境学習会の共同開催

企業・団体様との連携により小学生等を対象とした環境学習会を開催しています。



寄附を通じた企業とのつながり(寄附以前からの連携もあり)

- ・敷地内の生物多様性保全(希少種の生息域外保全、自然共生サイト登録)
- ・環境学習ツールの開発 ・環境学習会の共同開催

琵琶湖博物館の寄附制度と企業連携

④生物多様性保全や環境関連の企画展示の実施

企業・団体様が行われている生物多様性保全や環境に関する取組を紹介する展示を開催しています。



<https://www.sunrise-pub.co.jp/isbn978-4-88325-863-5/>

企業同士の連携・ネットワーク
(寄附以前からのつながりあり)

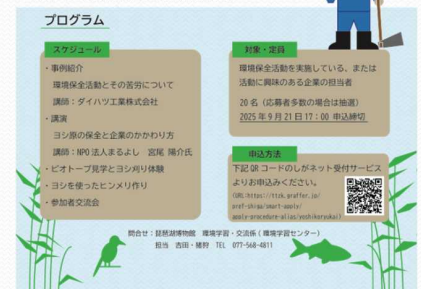
→複数企業による調査・保全・発信活動と展示

環境保全活動者交流会

(活動企業を講師として他企業に講義・現地見学・実習)



琵琶湖博物館 環境学習センターでは、環境学習の推進や環境保全活動を行っている方々の支援をしています。本交流会では、ダイハツ工業株式会社(龍王)工場で取り組まれている環境保全活動とその効果についてお話しいただき、事業内容やネットワークの紹介も実施します。加えて、近況/場で学ぶ際の環境保全活動についてお話しいただき、ワークショップを実施します。多くの企業様にご参加いただき、みなさまの環境保全活動に活かすとともに、自社の環境学習プログラムを制作する際に役立てていただければ幸いです。



<https://www.biawahaku.jp/2025/08/2025.html>

YouTube・SNS、CFを介した広報

- * コロナ禍でのインターネット発信から継続・発展
「おうちでやってみよう」「フィールドでやってみよう」
「研究・学習の動画」
- * リニューアル広報活動: 2015年度より業者委託(現在も継続)
YouTube「びわこのちからチャンネル」
- * クラウドファンディング活動報告



リニューアル時の広報コンセプト→



公式YouTubeチャンネル



クラウドファンディング活動報告

YouTube・SNS、CFを介した広報

* YouTube「びわこのちからチャンネル」主な内容

- ・学芸員による**研究発信**・研究と展示室を関連づけた内容(2021年度～)
- ・**展示室紹介**(2021年度～)
- ・水族**展示室生き物**紹介(2023年度～)
- ・**クラウドファンディング**関係の発信(2023年度～)
※タイムラプスで経過を紹介
- ・**ショート動画**(2023年度～)
- ・**利用案内**(2023年度～)
- ・**フィールド紹介**(2023年度～)
- ・**はしかけ活動**(2024年度～)
- ・水族飼育員の**仕事**(2024年度～)
- ・**多言語**(2024年度～)



YouTube・SNS、CFを介した広報

* YouTube「びわこのちからチャンネル」 研究発信

2021年度

- ・世界初！？の完全再現！弥生土器でお米を炊く！？
- ・琵琶湖の冬の名物！氷魚（ひうお）漁にびわ博のお魚博士が密着！
- ・どんな魚がいる！？びわ博のお魚博士が琵琶湖下流域で冬の生き物調査！

2022年度

- ・40万年前の琵琶湖の森が分かる！？花粉の化石を調査！
- ・琵琶湖で厄介者になった鳥！？カワウがすむ「竹生島」を大調査！
- ・琵琶湖周辺に生息する日本一長いミズ！ハッタミズを大調査！
- ・100年ぶりに発見！滋賀では幻のエビ！？「ミナミヌマエビ」を大調査！
- ・大実験！江戸時代の製法で「ふなずし作り」に挑戦！！

2023年度

- ・あなたの近くにも住んでいる！？日本一小さなネズミを追え！！
- ・江戸時代の藻取り(藻刈り)に挑戦！
- ・全部で〇〇種類！？バケツ1杯の微小生物を数えてみた
- ・まさかの巨大魚が！！沖島の伝統漁、地引網にチャレンジしてみた
- ・タイムトラベル！地層でめぐる琵琶湖のうつり変わり



江戸時代の藻とり（藻刈り）に挑戦！

Harvesting water plants from Lake Biwa ...

▷ 12万 2年前



世界初！？の完全再現！弥生土器でお米を炊く ...
く！？A world's first!? Reproducing the ...

▷ 11万 4年前

<https://www.youtube.com/channel/UCnm1cPWFm1CCiv2HYkLiCtQ>

41

41

2026/07/08

YouTube・SNS、CFを介した広報

* YouTube「びわこのちからチャンネル」 展示室紹介・利用案内・フィールド紹介



【Vlog】琵琶湖博物館の歩き方！水族展示な ...
ど見所を現役学芸員さんが案内。A curator o...

▷ 9.6万 1年前



琵琶湖の冬の名物！氷魚（ひうお）漁にびわ ...
博のお魚博士が密着！ Lake Biwa's winter ...

▷ 7.2万 4年前



【お知らせ】琵琶湖博物館「学校団体利用の ...
お申し込みについてご案内」

▷ 5万 1年前

<https://www.youtube.com/channel/UCnm1cPWFm1CCiv2HYkLiCtQ>

42

42

YouTube・SNS、CFを介した広報

* YouTube「びわこのちからチャンネル」
多言語・はしかけ活動・水族飼育員



琵琶湖博物館 日本最大の湖泊 | 感受日本の ...
自然與文化！
▷ 3.8万 2 か月前



布はどう作られる？植物から糸、布ができる ...
までを解説【はしかけ活動】
▷ 1.7万 6 か月前



【1日ルーティン】琵琶湖博物館の水族飼育 ...
員の1日に密着！
▷ 1.6万 1 年前

<https://www.youtube.com/channel/UCnm1cPWFm1CCiv2HYkLiCtQ>

43

43

YouTube・SNS、CFを介した広報

* YouTubeチャンネル利用状況

2025年度の累計

登録者数	閲覧回数	再生時間(時間)	インプレッション数
34,017	1,519,748	76,090.6	3,170,744

* SNSアカウント基本情報

2025年度末時点

	フォロワー数	リアクション数	2025年度投稿数
Facebook	6,985	47,014	260
Instagram	6,895	32,045	254
X	9,296	—	268

琵琶湖博物館年報 第30号 2025年度(令和7年度)
<https://www.biwahaku.jp/publication/report/>

44

44

みんなで作った ビワコオオナマズ水槽・コアユ水槽オープン

2026年 4月10日内覧会 4月11日オープン
設計、施工、展示業者、博物館で十分に情報共有しながら、
安全安心でより一層生態や特徴、人との関わりを伝える展示に更新



45

45

2026/07/08

水槽破損事故をめぐる活動からみえてきたびわ博

- ・支援者の顔が見えた応援メッセージ、リターン
→支援・応援は日頃の一人一人の方との交流と信頼関係から
- ・誰もが参加・みんなで作る
→資金不足を補うだけではなく博物館活動への参加の仕組みの一つ
- ・支援者との交流・連携が、館外・地域での活動と支援者同士の交流へ
→フィールドへの入口、交流の場としてのびわ博の役割
- ・職員が日頃から一緒に業務を行う
→認識や行動を共有し、立場を超えて博物館を盛り立てる
- ・新しい取り組みでは、いつも原点に立ち返って考える →びわ博らしさ

46

46

そして今年 開館30周年

これまでの活動の振り返り
＝原点を見直し、これからを考える

次世代への継承
＝「びわ博らしさ」とは何か

